

感染症の流行・発生状況について
2026年第18週(4月27日～5月3日)診断分

● 県全体の警報・注意報

警報	なし
注意報	なし

● 各保健所の警報レベル・注意報レベル

警報レベル	注意報レベル
南部保健所: 水痘	なし

● 2026年第18週南部保健所管内の全数報告について※先週までの訂正追加報告も含む

《二類感染症》 ・結核: 2件 《三類感染症》 ・腸管出血性大腸菌感染症: 1件	《五類感染症》 ・麻疹: 1件 ・梅毒: 1件
---	-------------------------------

● 南部保健所からのお知らせ

「手洗い」、「咳エチケット」、「換気」等の感染予防策の実施にご協力よろしくお願いします。

1) 麻疹(はしか)

- 県内では今年2例目の麻疹の報告がありました。
全国的に麻疹が発生しており、全国では第18週で23例の報告がありました。
- ・旅行先の感染状況を把握しましょう。
帰宅後は潜伏期間の5～14日(最長21日)は体調を確認しましょう。
 - ・38℃前後の発熱、咳、鼻水、結膜充血、発疹などの症状がある場合は、医療機関に電話をした上で受診をしてください。
 - ・自身のワクチンの接種回数を確認しておきましょう。
MRワクチン定期接種年齢のお子様(1歳、小学校入学前の1年間)は早めに接種しましょう。

2) 水痘(水ぼうそう)

本県の定点からの水痘報告数は、2026年第12週において定点当たり0.92人(報告数23名)と減少し注意報解除となっています。南部保健所管内においては、**第18週で定点当たり1.00人(報告数6人)と警報レベルは継続しております(警報解除は定点1.0人未満)**。

水痘は水痘帯状疱疹ウイルスによって起こる急性の伝染性疾患で、2週間程度の潜伏期間の後、発熱や倦怠感(成人のみ)を経て掻痒を伴う全身性の発疹といった症状が出現します。1歳以下や15歳以上で合併症の危険性が高くなり、とくに成人では重症化及び合併症の頻度も高くなります。感染及び重症化予防には感染者との接触を控えることと予防接種が有効です。定期接種の対象でまだ接種を受けていない方は早めに接種ください。

発熱、長引く咳など体調不良時には、かかりつけ医に相談、受診もしくは、受診医療機関に迷う場合は、「おきなわ#7119電話相談」(#7119 若しくは 098-866-7119)へご相談ください。

沖縄県全体報告数

疾病名	定点区分	15週	16週	17週	18週	18週
		4/6	4/13	4/20	4/27	(定点あたり報告数)
インフルエンザ	インフルエンザ	192	153	172	122	(2.77)
咽頭結膜熱	小児科	4	7	8	12	(0.50)
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	小児科	30	17	31	40	(1.67)
感染性胃腸炎	小児科	83	60	83	109	(4.54)
水痘	小児科	22	23	23	11	(0.46)
手足口病	小児科	1	0	3	5	(0.21)
伝染性紅斑	小児科	0	0	0	1	(0.04)
突発性発疹	小児科	10	5	2	5	(0.21)
ヘルパンギーナ	小児科	2	1	5	7	(0.29)
流行性耳下腺炎	小児科	0	0	0	0	(0.00)
急性出血性結膜炎	眼科	0	0	0	0	(0.00)
流行性角結膜炎	眼科	10	12	16	12	(1.33)
細菌性髄膜炎	基幹	1	0	0	0	(0.00)
無菌性髄膜炎	基幹	1	0	0	2	(0.29)
マイコプラズマ肺炎	基幹	0	0	0	1	(0.14)
クラミジア肺炎	基幹	0	0	0	0	(0.00)
RSウイルス感染症	小児科	3	13	21	12	(0.50)
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	基幹	0	0	0	0	(0.00)
COVID-19	COVID-19	66	61	51	57	(1.30)

南部保健所管内報告数

15週	16週	17週	18週	18週
53	28	26	43	(3.58)
1	6	1	3	(0.50)
4	0	5	6	(1.00)
28	29	34	52	(8.67)
12	15	7	6	(1.00)
0	0	2	2	(0.33)
0	0	0	0	(0.00)
3	2	0	1	(0.17)
0	0	1	5	(0.83)
0	0	0	0	(0.00)
0	0	0	0	(0.00)
6	5	6	5	(1.67)
0	0	0	0	(0.00)
0	0	0	1	(1.00)
0	0	0	0	(0.00)
0	0	0	0	(0.00)
0	2	4	5	(0.83)
0	0	0	0	(0.00)
20	15	12	14	(1.17)

警報

注意報

※クラミジア肺炎については、オウム病を除く。